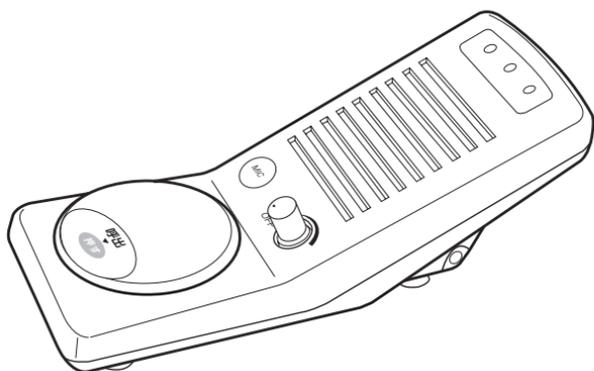


FIRSTCOM

スタンドマイクスピーカー
FC-PT1

取扱説明書

保証書付



このたびは FC-PT1 をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

目次

必ずお読みください

| | |
|----------------------|---|
| 安全についてのお願ひ・ご注意 | 3 |
| 免責について | 4 |

準備する

| | |
|----------------|---|
| 本機でできること | 5 |
| 同梱品を確かめる | 6 |
| 各部の名称 | 7 |
| 設置と接続 | 8 |

通話をする

| | |
|---------------------|----|
| 通話の方法 | 11 |
| その他の動作と機能について | 13 |

特定小電力トランシーバーの法的機能制限

13

故障かな？と思ったら

14

主な仕様

14

保証規定 / 保証書

裏表紙

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

 **警告** この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。

 **注意** 注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

警告

-  ■本取扱説明書に従い、正しい取扱いで安全に使用してください。正しい取扱いを十分知っていない人、正しい操作ができない人、お子様などには絶対に使用させないでください。 <事故をひきおこす原因となります>
-  ■コード類は、作業の妨げにならないように引き回してください。
-  ■本機を水につけない
本機は防沫仕様で、完全防水ではありませんので、水につけたり、水をかけたりしないでください。感電、故障の原因になります。
-  ■雷が鳴り出したら本製品には触れないでください。
-  ■電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
-  ■ケースは絶対にあけないでください
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障や感電の原因となります。
-  ■内部に異物を入れない
内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。
-  ■異常があるときはすぐ使用をやめる
発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、ACアダプターを抜いてください。そのまま使用されますと火災や感電の原因になります。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。
- 

必ずお読みください

⚠ 注意

-  ■使用前には、必ず取扱説明書を熟読し、本機の使用方法をよく理解してから安全にお使いください。記載されている使用方法以外では、絶対に使用しないでください。
-  ■高温・直射日光下では使用しないでください。
-  ■ AC アダプターは必ず付属のものを使用してください。
-  ■使用温度範囲内で使用する
本機の温度保証範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分ご注意ください。
-  ■誤った使用方法により、商品が破損・人体への損傷・物品等への損害が生じた場合、一切の保証、ならびに責務は無効となります。
-  ■衝撃や強い振動を加えない
使用している部品が壊れ故障の原因になります。
-  ■日本国内で使用する
本機の仕様は日本国内向けとなっています。
-  ■取り付け場所を十分に考慮する

免責について

- ※お客様または第三者が本機の誤使用、誤設定、使用中に発生した故障、誤動作、不具合あるいは天災や火災等の外部的な要因によって生じた損害等につきまして、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※本機の取り付け、接続および使用方法を誤ると接続機器の破損や損傷の原因となりますが、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※本機を使用することにより発生した事故、故障などにつきましては、当社では責任を負いかねます。

準備する

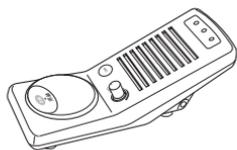
本機でできること

- トランシーバーの交互通話方式で、呼出ボタン(送信ボタン)を大きくし、手のひらやヒジでも容易に押せます。
- マイクから1m以上離れた所の音声も送信可能です。
- 最大3Wの音声出力だから大きな音量で聞くことができます。
- 送信中の状態表示は赤色ランプにて確認ができます。
- 受信時の受話音声の有無は、緑色ランプにて確認ができます。
- 各種のトランシーバーが使用できるように、機種別変換コードを4種類付属しています。
- トランシーバーと本機を数十m離れた所で使うことができます。
(オプション：延長コードが必要)
- いろいろな使用環境に対応するため、日常生活防水仕様となっております。
- 卓上設置時に滑りにくい吸着盤付き
- 電源はコンセント接続用AC100V入力のACアダプターを付属しております。

準備する

同梱品を確かめる

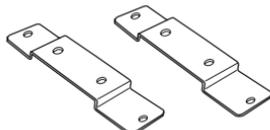
お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。



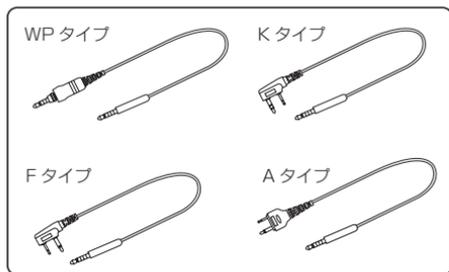
本体 (1 台)



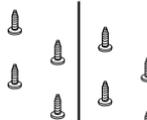
AC アダプター (約 1.8m)
(1 本)



壁掛用ステー (2 個)



変換コード4種 (約 30cm)



壁掛用ステー取
付ネジ 3 × 8
(4 本)



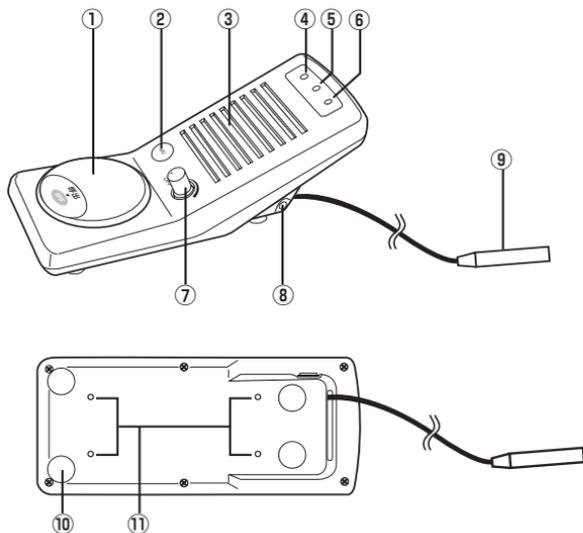
壁取付用木ネジ
3.1 × 13
(4 本)



取扱説明書 (本冊子)
保証書付 (1 冊)

※本文のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

各部の名称



- ① 呼出ボタン
送信する場合に押します。
送信中は「送信ランプ」が点灯します。
- ② マイク
送信する場合マイクに向かって話します。
- ③ スピーカー
通話相手の音声聞こえます。
- ④ 電源ランプ（赤）
本体の電源が入ると点灯します。
- ⑤ 受信ランプ（緑）
受信すると点灯します。
- ⑥ 送信ランプ（赤）
トランシーバーが送信状態になると点灯します。
- ⑦ 電源スイッチ / 音量ボリューム
電源の ON/OFF、スピーカー音量の設定
- ⑧ 電源ジャック（DC12V）
ACアダプターからのプラグを接続します。
- ⑨ 接続ジャック
変換コードを接続します。
- ⑩ 吸着盤（4ヶ）
- ⑪ 壁掛用ステー取付穴（4ヶ所）

準備する

設置と接続

■本体設置

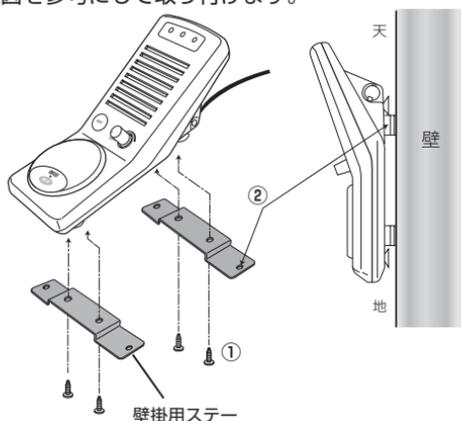
卓上設置の場合

本体底面に吸着盤が取り付けられていますので、そのまま卓上に置き、ご使用いただくか、卓上面が鏡面のように滑らかな場合は、上から強く押し付けて吸着させてからご使用ください。

壁面等に設置する場合

付属品の壁掛用ステー 2 個を図を参考にして取り付けます。

- ①本体底面の壁掛用ステー取付穴にステーの穴を合わせ、付属の 壁掛用ステー取付ネジで固定します。(4ヶ所)
- ②ステーを壁等に付属の壁取付用木ネジで固定します。(4ヶ所)

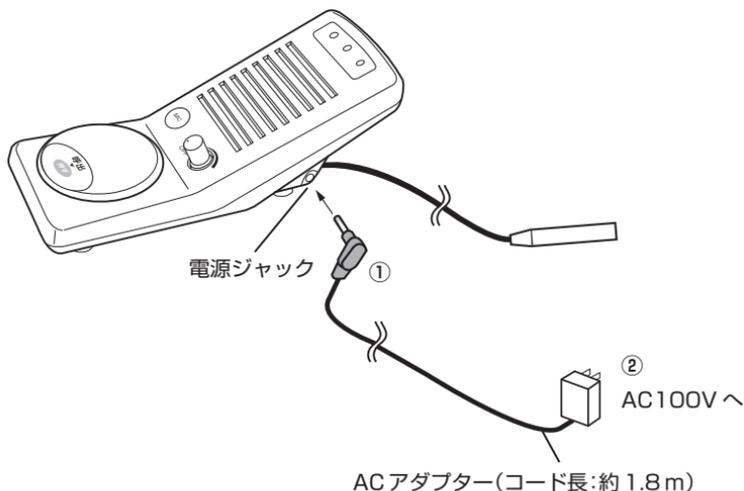


⚠️ ご注意

- 木材の壁に取付ける場合は付属の木ネジ(3.1 × 13)で固定してください。
- モルタル、中空ボード、コンクリート等の壁に取付ける場合は、それぞれの素材に適したアンカー等の部品を別途ご用意の上使用してください。
- 取付ける際、本機が落下しないよう確実に固定してください。
- 定期的に固定状態を点検してください。

■電源接続

- ① ACアダプターのプラグを本体の電源ジャックに接続します。
- ② ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。



■トランスシーバーとの接続

トランスシーバーの置き場所を決め、イヤホンマイク端子と本体の接続ジャックを付属の変換コードで接続します。

ご注意:変換コードはトランスシーバーのメーカーや機種に合わせ選択してください。

4種類あります。機種によっては接続できない場合もあります。

詳細は弊社ホームページを参照してください。

<http://www.frc-net.co.jp/products/transceiver/FC-PT1.html#tekigou>



◀対応モデル名等の詳細はこちらへアクセス

準備する

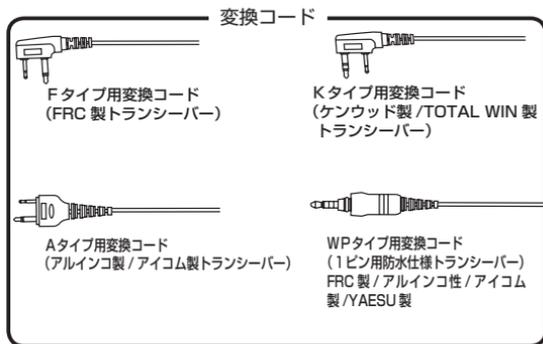
(例：FIRSTCOM FC-B20R)

特定小電力トランシーバーのイヤホン/マイク端子へ

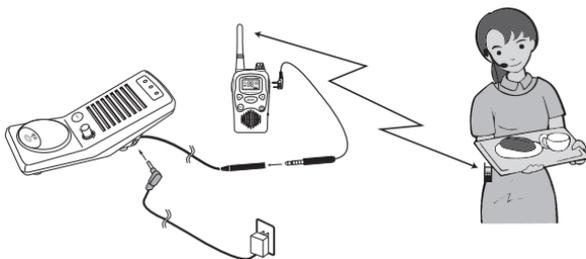
Fタイプ用変換コード
(コード長：約30cm)



接続例：FRC 製トランシーバー FC-B20R の場合



■全体接続図



通話をする

通話の方法

1. 接続するトランシーバーの設定をする

- (1)相手トランシーバーと本機に接続するトランシーバーの電源を ON にし、チャンネル等を合わせて通話ができる設定になっていることを確認してください。
※接続トランシーバーの設定方法等は説明書等でご確認ください。
- (2)本機に接続するトランシーバーの音量は最大に設定してください。
- (3)受話音声の歪みが多く感じられた場合は、トランシーバー側の音量ボリュームを少し下げると改善する場合があります。

2. 電源の ON/OFF

- (1)電源スイッチ / 音量ボリュームを右に廻すと電源が入ります。
- (2)電源スイッチ / 音量ボリュームを左にいっぱい廻すと電源が切れます。
- (3)電源が入ると、本体上部にある表示部の電源ランプ（赤）が点灯します。



3. 音量を調節する

電源スイッチ / 音量ボリュームを廻し
ほぼ中央に設定しておきます。

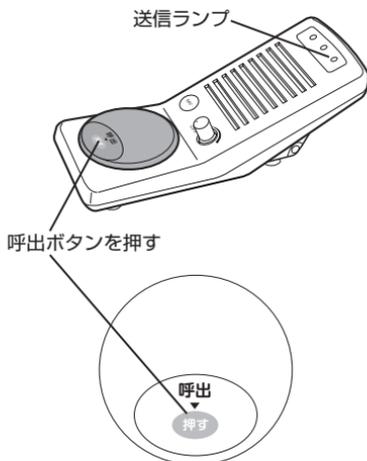


電源スイッチ / 音量ボリュームは中央にセット

通話をする

4. 送信動作の確認

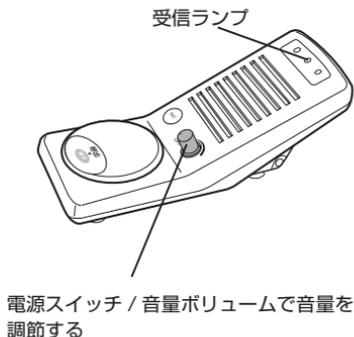
- (1) 本体の丸い「呼出」ボタンを押す。
ご注意：押す場合はボタンの“押す”と印字されているところを押してください。上部を押すと動作しません。
- (2) 本体上部にある表示部の送信ランプ（赤）が点灯します。
- (3) 「呼出」ボタンを押したままで本体に向かって話をする、相手トランシーバーよりその声が出ることを確認します。送信が終わったら「呼出」ボタンを押すのを止めます。



5. 受信動作の確認

- (1) 相手トランシーバーから送信します。
- (2) 本体上部にある表示部の受信ランプ（緑）が点灯し、スピーカーから音声が出ることを確認してください。このとき、音量ボリュームを廻し音量を調節してください。

※受信ランプは通話相手のトランシーバーから受信音声が入ると点灯し、受信音声がなくなると消えます。本体の音量ボリュームを最小にしても受信音声が入ると点灯します。



ご注意

本機は防沫仕様で、完全防水ではありませんので、水につけたり、水をかけたりしないでください。感電、故障の原因になります。

その他の動作と機能について

■キー操作確認音

トランシーバーのボタン操作をしたとき、トランシーバーで確認音を鳴らす設定にしてある時は、ボタン操作をすると、本体のスピーカーから確認音が聞こえます。

■VOX(ハンズフリー)機能について

トランシーバーにVOX(ハンズフリー)機能が装備されていても本機を接続する場合はVOX機能は使用できません。

■同時通話機能について

トランシーバーに同時通話機能が装備されていても本機を接続する場合は同時通話機能は使用できません。

■使用環境について

本機は日常生活防水になっていますが、常に水がかかる場所や水分が多い場所ではできるだけ避けて設置をしてください。

■配線接続

下記の各接続部は、水分の多い場所での使用の場合、できるだけ自己融着テープやシーリング材などを使用して水が入らないように処理してください。

- ①本体から出ている約2mのコードと変換コードの接続部
- ②変換コードとトランシーバーの接続部
- ③本体の電源ジャック部とACアダプターのプラグ接続部

特定小電力トランシーバーの法的機能制限

■キャリアセンスについて

通信の相手、あるいは他の無線機からの信号を受信中は「呼出」ボタンを押してもアラーム音が鳴り送信できません。

■通信時間制限について

特定小電力トランシーバーにて交信する場合、送信と受信の時間を合わせて3分間で自動的に送信を停止し、受信状態になります。自動停止となった後の2秒間は送信できません。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に下記の〔症状による項目確認〕を点検して弊社宛に修理を依頼してください。

■症状による確認項目

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-------------------|---------------------------------|------------------------------|
| 電源が入らない | ACアダプターのプラグが抜けている | ACアダプターのプラグを差し込む |
| 受信できない | a. 本体からのコードと変換コードの接続が抜けている | コードのプラグとジャックを確実に接続する |
| | b. トランシーバーの音量ボリュームが最小になっている | トランシーバーの音量ボリュームを最大にする |
| 「呼出」ボタンを押しても送信しない | トランシーバーがVOXモード(ハンズフリー)になっている | VOXモード(ハンズフリー)機能をオフにする |
| 相手と通話できない | a. トランシーバーのチャンネルか、グループ番号が異なっている | チャンネル番号、グループ番号を合わせる |
| | b. 相手との距離が離れ過ぎている。または電波的障害物がある | 通話のできる距離まで近づく 電波的障害物を取り除く |
| 受信ランプが点灯するが音声が出ない | 本機の音量ボリュームが最小になっている | 音量ボリュームを適当な音量まで上げる |

主な仕様

- マイク感度: -54 ± 3dB
- マイク インピーダンス: 2.2k Ω
- スピーカーサイズ: 3 インチ (7.6cm)
- 音声出力: 最大 3W
- スピーカー許容入力電力: 5W
- スピーカーインピーダンス: 4 Ω
- 使用温度範囲: -20℃～+ 55℃
- 電源電圧: DC12V (ACアダプター: AC100V 入力)
- 質量: 約 560g
- 寸法: 幅 100mm ×高さ 80.5mm ×奥行 250mm
- 防水性能: JIS 4級 防沫仕様 (IP4 相当)
- 本体材質: 耐熱 ABS 採用

※仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。

保証規定

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したのですが、万一ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
- ②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
- ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
- ④本保証書のご提示がない場合。
- ⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 使用上修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
- 保証は不具合が発生した製品を販売店にお持ちいただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 保証の範囲は商品のみ保証となり、取り付けや取り付けにかかる費用の保証や商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

※あらかじめご承知いただきたいこと

- ・修理の時、一部代替品を借らせていただくことや修理品に変わって同等品と交換させていただくことがあります。
- ・出張による修理は一切致しませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書の内容は、機能改善のため予告なく変更する場合があります。

【サポート問い合わせ先】

株式会社 エフ・アール・シー サービス課

TEL : 042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00】

品質保証書

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。万一、ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保存してください。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参いただくか、弊社宛てに症状をお書き添えの上送付願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店、または弊社サービス課にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

| | | | |
|------|--------------|-------|--------|
| 商品名 | スタンドマイクスピーカー | | FC-PT1 |
| 保証期間 | 1年間 | 購入年月日 | 年 月 日 |
| お客様 | ご住所 | | |
| | TEL. | | |
| | お名前 | | |
| 販売店 | 住所 | | |
| | 店名 | | |
| | (印) | | |

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

F.R.C. CO., LTD.

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0035 東京都町田市忠生4-11-8

URL <http://www.frc-net.co.jp>



4-130-001

MADE IN JAPAN

P1417